

閉塞性動脈硬化症による慢性重症虚血肢の 医師主導治験を開始しました。



九州大学病院消化器・総合外科(血管外科)では、ナノテクノロジーを基盤としたドラッグデリバリーシステムを用い、「効果的」でかつ「安全」にスタチン系薬剤の血管新生促進作用をうながすために、ピタバスタチンをPLGAという生体吸収性ポリマーでナノ粒子製剤化したピタバスタチン封入PLGAナノ粒子製剤(治験薬コード: NK-104-NP)という新薬の候補を開発し、慢性重症虚血肢の患者様を対象とした治験を行っております。

ご参加いただける方

選択基準

- 1) 安静時疼痛のある方もしくは下肢に潰瘍・壊死のある方
- 2) 同意取得時の年齢が20歳以上の方

除外基準

- 1) 悪性腫瘍を合併している方または5年以内に悪性腫瘍の手術を受けた方
- 2) 慢性重症虚血肢により生じている潰瘍部の外科的手術が予定されている方
- 3) 重症の心機能障害、心不全を有する方
- 4) 未治療の重症不整脈の方
- 5) 人工弁置換手術の施術歴がある方
- 6) アナフィラキシーショック等の重篤な薬物アレルギーの既往歴または重篤な副作用の既往歴のある方
- 7) アルコール依存または薬物依存症の方

上記以外でも基準がございます。詳しくは、下記までご連絡ください。

投与方法: 5日間連続 筋肉内注射

治験期間: 6ヶ月(治験薬投与後6ヶ月間は、定期的に検査があります。)

問い合わせ先: 九州大学病院 ARO 次世代医療センター

治験責任医師: 消化器・総合外科 前原 喜彦

治験分担医師: 消化器・総合外科 松本 拓也 ・ 森崎 浩一

電話番号: 092-642-5466

問い合わせ時間: 9:00~17:00

